9月度の観察記録

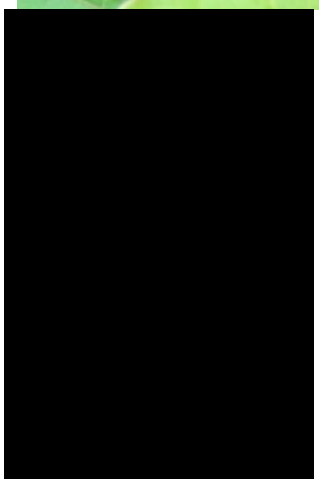
カテゴリ ： 2021年

_MD_POSTEDON投稿者： Zz.admin 掲載日: 2021-9-12

2021年9月度の観察記録です。

Untitled Page .auto-style1 { text-align: right; } var gaJsHost = (("https:" == document.location.protocol) ? "https://ssl." : "http://www."); document.write(unescape("%3Cscript src='" + gaJsHost + "google-analytics.com/ga.js' type='text/javascript'%3E%3C/script%3E")); var pageTracker = _gat._getTracker("UA-3205823-1"); pageTracker._initData(); pageTracker._trackPageview();

2021年?9月?12日（日）9：30～12：00　作成：田畑恭子　監修：瀧川正子
天気：曇り　　愛知県では緊急事態宣言が９月30日まで延長され、今月も自然観察会を中止することとなりました。以下を2021年9月の記録として残します。　今月もさとの道を進むことにしました。
繁茂するイタドリの上に**サトクダマキモドキ**がいました。



サトクダマキモドキ ？　　この日はほかにも**イボバッタ**、ショウリョウバッタ、オンブバッタなどたくさんのバッタの仲間を見かけ、ほとんどが成虫でしたが、**ツチイナゴ**と**クビキリギス**は幼虫でした。ほとんどのバッタ目の昆虫は卵で越冬しますが、この2種は成虫で越冬します。

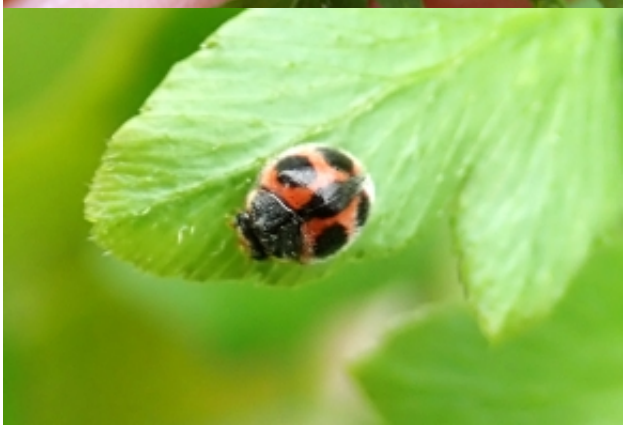
イボバッタ　ツチイナゴの幼虫　クビキリギスの幼虫　　道端には**キツネノマゴ**や**アメリカタカサブロウ**の小さな花が見られました。アメリカタカサブロウはその名の通りアメリカ原産の帰化植物で、このあと畑でも咲いているのが見られました。

[redacted]

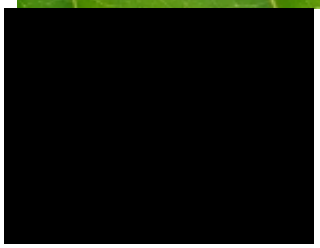
キツネノマゴ アメリカタカサブロウ　　イネ科の植物もたくさん穂をつけていました。**キンエノコロ**やエノコログサ、メヒシバ、**セイバンモロコシ**などを確認しました。

[redacted]

キンエノコロ セイバンモロコシ　　他の植物にからみつくようにして伸びる**カニクサ**を観察していると、その葉先に**モンクチビルテントウ**が止まっているのに気がつきました。モンクチビルテントウは南方から移入してきた3㎜ほどの小さなテントウムシで、年々北上を続けているようです。



カニクサ カニクサの胞子嚢 モンクチビルテントウ　　その近くでは、ほかにも**モリチャバネゴキブリ**や**アオズムカデ**が見られました。



モリチャバネゴキブリ アオズムカデ　　大きく成長した**ナガコガネグモ**が見られ、張った網にはジグザグの隠れ帯が作られていました。一方で**ジョロウグモ**もたくさん見かけましたが、まだ十分な大きさには育っていないようでした。

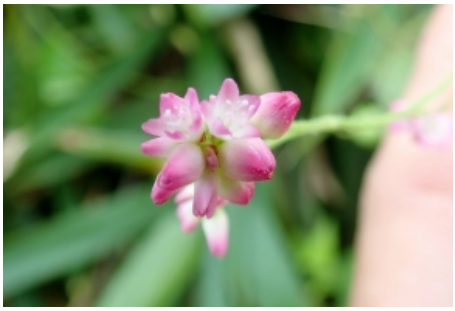
[redacted]

ナガコガネグモ ジョロウグモ　　**ツマグロオオヨコバイ**は春ごろから普通に見かける昆虫ですが、この日はとりわけ大量に見られました。またイボタノキの枝上に**ヒヨドリ**のものらしい**巣**が残されているのに気づきました。枝からはずして中を調べた結果、その巣材の劣化の様子から今年のものではなく古い巣ではないかと推測されました。

[redacted]

ツマグロオオヨコバイ ヒヨドリの巣　　**ヨモギ**が大きく成長して、上部にはたくさんのつぼみをつけていました。ヨモギの上の方には切れ込みのない細長い全縁の葉ばかりがついていました。道沿いの足元には**マメアサガオ**の白い花が目立ちました。また**オオニシキソウ**が極小の白い花を咲かせていて、同時に実もつけているところが確認できました。

ヨモギ マメアサガオ オオニシキソウ　　**ママコノシリヌグイ**の花が咲いていました。よく見ると葉が**マメコガネ**に大きく食べられていました。先月たくさんの花を咲かせていた**ノブドウ**は**実**をつけていて、その色は紫、薄い青、青味がかった白などさまざまでした。



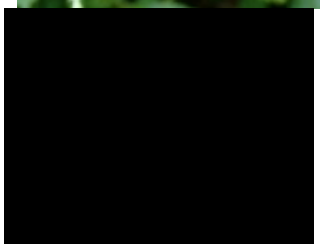
ママコノシリヌグイ マメコガネ ノブドウの実　**ヘクソガズラ**は花を咲かせているときにはわかりやすいのですが、花の季節以外にそれと確かめるには葉をもんでその匂いを嗅ぐ方法が簡単です。また葉には見た目の特徴があり、対生の葉の付け根に小さな托葉が見られればヘクソガズラとわかります。**ハモグリバエの食痕**のあるヘクソカズラの葉も見つかりました。その名の通り葉の中にもぐり、硬い葉脈を避けるように食べた痕が長く続いていました。

[redacted]

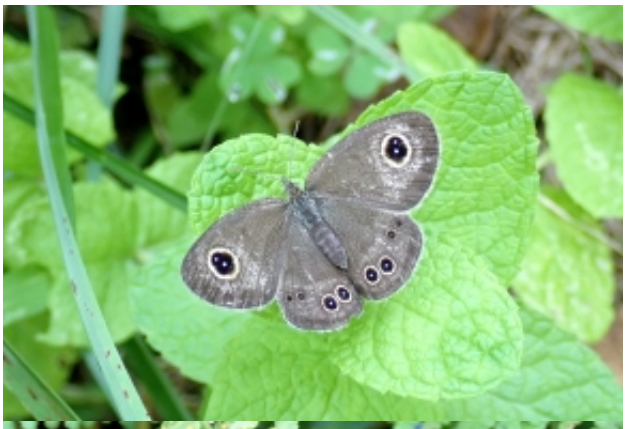
ヘクソカズラの托葉 ハモグリバエの食痕　　ツツジの葉にたくさんのハバチの幼虫がついていました。**ルリチュウレンジ**の**幼虫**でした。頭部が黒いものと黄色っぽいものがいましたが、若齢のうちは黒く脱皮を繰り返すうちに黄色になるようです。近くに緑色の小さなウンカの仲間がとまっていて、**ミドリグンバイウンカ**と分かりました。

[redacted]

ルリチュウレンジの幼虫 ミドリグンバイウンカ　　今月もカラスウリには**クロウリハムシ**が多数見られました。葉の表面が丸く傷つけられた食痕が特徴的です。**キンミズヒキ**の花が咲き、一部は実になっていました。この実はひっつき虫の仲間です。



クロウリハムシ キンミズヒキ　　シンジュの葉に**ハゴロモの仲間**がとまっていました。ミドリグンバイウンカと同じカメムシ目の仲間で、はじめ夏の灯火にもやってきたことのあるアミガサハゴロモと思いましたが、よく見ると白い斑の形や眼が赤いところから別のハゴロモのようでした。足元のアップルミントには**ヒメウラナミジャノメ**がとまって羽を広げていました。近くの**シダ**の葉を裏返すと**胞子嚢**がきれいに並んでいました。



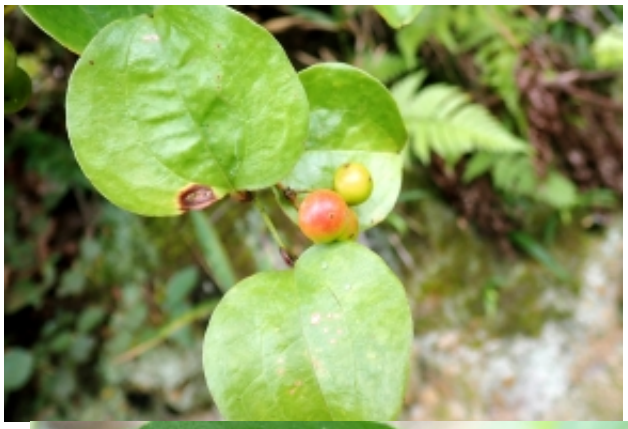
ハゴロモの仲間 ヒメウラナミジャノメ シダの胞子嚢　　**ミツバアケビ**の実がたくさんなっているのが見えました。ざっと数えただけで大きな実が10個以上ありましたが、残念ながら手が届かないものばかりでした。**ガマズミ**には小さな赤い実がついていました。食べられると言われ試してみましたが、味はあまり感じられませんでした。

[redacted]

ミツバアケビ ガマズミ　　田んぼの脇のヤナギの木に**ヤナギルリハムシ**がたくさんついていました。初夏に見かけるヤナギハムシはもういませんでした。その根元には**チドメグサ**が見られました。

[redacted]

ヤナギルリハムシ チドメグサ　　炭焼き広場にさしかかる手前の**サルトリイバラ**は日当たりのいい場所にあるせいか早くも実が色づき始めていました。畑ではピーマンの葉に**ヒメシャクの仲間**がとまっていました。帰り道のアベマキにはたくさんドングリがなっていました。**クヌギシギゾウムシ**が数多く訪れており、ドングリを順番に調べていくと次々と見つかりました。交尾中の雌雄を比べると、下になっているメスの口吻の方が長いように見えました。



サルトリイバラの実 ヒメシャクの仲間 クヌギシギゾウムシ　　9月に入り、新型ウイルスの感染者数は少し落ち着いてきました。このまま減少傾向が安定的に続き、さまざまな制約のない暮らしが戻ってきてくれるのが期待されます。毎回自然観察会が実施できるのかどうかヤキモキして待つ第2日曜日ですが、10月こそ通常通り開催できることを願います。

平和公園での観察項目：サトクダマキモドキ,ショウリョウバッタ,キツネノマゴ,アメリカタカサブロウ,モンクチビルテントウ,カニクサ,モリチャバネゴキブリ,アオズムカデ,イヌタデ,タイワンタケクマバチ,ツユクサ,クビキリギスの幼虫,ナガコガネグモ,キンエノコログサ,エノコログサ,メヒシバ,イボタノキ,ヒヨドリの巣,イセノナミマイマイ,ツマグロオオヨコバイ,サトキマダラヒカゲ,ウメモドキ,カニクサの胞子嚢,オオバコ,クモの卵嚢,ヨモギのつぼみ,ヤブガラシの花,マメアサガオ,ママコノシリヌグイ,オオニシキソウ,セイバンモロコシ,マメコガネ,ハギの花,クズの花,ノブドウの実,ヒナタイノコヅチ,ミズヒキ,ナンテン,ハモグリバエの食痕,ヘクソカズラ,ルリチュウレンジの幼虫,ミドリグンバイウンカ,イモカタバミ,イモカタバミ,ジョロウグモ,クロウリハムシ,アレチヌスビトハギの花,キンミズヒキ,ハゴロモの仲間,シンジュ,アップルミントの花,ヒメウラナミジャノメ,ツチイナゴの幼虫,コムラサキの実,ノブドウの実,ミツバアケビの実,サルトリイバラ,ガマ

ズミの実,シロバナサクラタデ,ミソハギ,キショウブの根,ヒルガオ,ウナギツカミ,イセノナミマイマイ,ヤナギルリハムシ,ジュズダマ,ヒメクグ,チドメグサ,ハシボソガラス,ナスの花,イボバッタ,シシトウの花,ミニトマトの花,オクラの花,ゴーヤの花,サトイモの葉,ピーマンの花,ヒメシャクの仲間,イチモンジセセリ,オンブバッ,クヌギシギゾウムシ,ツクツクボウシの声
?